



南部

南部町は26日、町内や近隣に住む外国人同士や地域住民との交流を進めようと、国際交流イベント「イチゴ食べ放題ツアー」を行った。タイ、インドネシア、ミャンマー、ベトナムの4カ国出身の女性約30人と職場や学校関係者ら

# イチゴ食べて 楽しく交流

## 4カ国出身者ら 町内の農園訪問

南部町の農園で真っ赤に実ったイチゴを味わう参加者

が、町内のイチゴ農園を訪れ、真っ赤に色付いた旬の味覚を堪能した。

参加したのは町国際交流センターで日本語を学んでいる外国人やその友人ら。同センターに集合した参加者たちは、町地域おこし協力隊員の渡辺嗣朗さんの進行で自己紹介した後、それぞれの出身国でのイチゴの呼び方や食べ方などについて紹介し合った。

この後、名久井岳の麓にある「ベリーズ司園」にバスで

移動。甘い匂いが漂うハウス内で、参加者たちは大きく実ったイチゴを一粒ずつはさみで摘み取り、頬張った。

タイからの留学生で八戸学院大学短期大学部2年のジョンさん(27)は「タイのイチゴは少し酸っぱいが、日本のはとても甘くておいしい」と笑顔で話した。(藤田幸雄)